

令和4年度新潟市地域医療推進会議 会議概要

日時：令和5年3月14日（火）

午後7時から8時半

会場：オンライン開催（zoom）

○出席者

【委員】

高橋委員、丸田委員、富田委員、大谷委員、佐藤委員、成瀬委員、鈴木委員、大平委員、浦野委員、國井委員、前田委員、河田委員

【アドバイザー】

新潟県医師会長

【関係機関】

新潟市医師会事務局長

【オブザーバー】

新潟市：消防局救急課長、保健衛生部こころの健康センター所長、福祉部地域包括ケア推進課長

【事務局】

新潟市：保健衛生部長、保健衛生部医監、保健所長、保健衛生部地域医療推進課長、ほか保健衛生部地域医療推進課職員

【傍聴者】

なし

○新潟市医療計画について

【事務局説明】

新潟市医療計画については、平成26年～令和5年度までの10年間を計画期間としていたが、新潟県地域保健医療計画との整合性を図り、関係者の意見を十分に把握するため、最終評価と第2期計画の策定を令和6年度に行い、第2期計画は令和7年度を始期とした。

【意見】

なし

○議事

（1）新潟市医療計画の計画後期の方策の進捗状況

<救急医療>

【事務局説明】

- ・救急医療については、市民への適正受診の啓発について、市報にいがたに記事掲載のほかSNS やアプリ等を活用して啓発を行った

- ・救急医療体制については、コアメンバー（新潟市医師会・市内救命救急センター長・新潟大学教授等）に参加いただき新潟市の救急について検討する会議を令和4年度3回開催した。また、心筋梗塞や夜間帯の整形外科の拡充なども令和4年度中に新たに開始した。
- ・医療機関に対して個別のヒアリングを行い、県の担当者とも定期的に zoom 会議を開催して、市の救急課題の共有と今後の方向性について話し合いを進めた。

【意見・感想】

- ・救急拠点について報道関係者と話をしていた中で、「市内の救急はそんなにひっ迫しているのか。」という話になった。市民に市内救急のひっ迫具合が伝わっていない。適正受診・救急車の適正利用の啓発をもっと積極的にしていった方がいいのではないか。
- ・二次救急を担う医師たちは、新たな救急拠点について大変期待をしている。県全体で研修医を養成する動きについても非常に期待している。

<精神疾患>

【事務局説明】

- ・一般医療機関と精神科医療機関の連携セミナーを平成30年度から継続しているが、救急医療や身体合併症における連携強化の体制構築が課題。
- ・認知症初期集中支援チームの研修会実施、認知症サポート医の養成、かかりつけ医の認知症対応力向上研修を実施した。今後内容の充実とオンラインも含めた研修に参加しやすい環境を整えたい。

【意見・感想】

- ・精神科の連携については、各論になるとなにも進まない状況が続いているので、市でプロジェクトチームを作るといいと思う。
- ・認知症について、市も大事な所に位置付けていると思うが、もう少ししっかりやっていただきたい。

<在宅医療>

【事務局説明】

- ・在宅等における看取りを可能とする体制整備を図るため、在宅医療・介護に関する理解を深める講座を小中学校や高校、地域の通いの場で開催した。
- ・訪問看護についてはPR動画を作成し、各種SNSでの周知を行い、また市民フォーラムや新潟大学の学生への授業などで魅力の発信を行った。
- ・「にいがた救急連携シート」のモデル運用については、要支援要介護認定者に対象を広げ、在宅医療と救急、医療関係者の連携強化に努めることができた。

【意見・感想】

- ・救急医療、高度救急医療病院の受け皿として、下り搬送を円滑にして、急変した場合上りもできるような円滑な体制を各小さな地域ごとに作っていくと、新潟市の在宅医療と救急医療はともに円滑化して充実すると思う。

<災害医療>

【事務局説明】

- ・医療救護体制の強化として、医療救護所として指定されている新潟市急患診療センターの対応方法について市医師会と協議を行った。
- ・令和元年度に締結した災害時の応援協定の協力内容について、三師会（新潟市医師会・新潟市歯科医師会・新潟市薬剤師会）と意見交換会を行った。その中で、新潟大学の和泉先生より「最近の災害対応の動向」というテーマで講演をしていただき、分散避難の浸透にともなう診療所や薬局の在り方（何も無いところに人とモノを集めるよりも、元々ある診療所や薬局に協力してもらう）について方向性を共有することができた。

【意見・感想】

- ・市主催の研修会以外にも、県や新潟大学主催の研修会が年間20回以上開催されている。市の保健師等いろいろな職種の方がたくさん参加しているので、そういった外部研修にも積極的に参加していただき、地盤づくりに努めていただきたい。

(2) 新潟市医療に関する意識調査の実施について

【事務局説明】

- ・令和6年度に現行の医療計画の最終評価を行うため、来年度意識調査を実施したい。前回と設問や選択肢を一部修正したのでご意見をいただきたい。

【意見・感想】

- ・新潟市医師会で救急疾患検索サイトを作ったが、宣伝が悪いせいか、あまり見ている人がいない。今後もう少し充実する予定なので、救急医療の相談方法の一つとして選択肢の一つに入れてもらいたい。

【配付資料】

- 次第
- 出席者名簿
- 資料1 新潟市医療計画について
- 資料2-1 (1) 各分野の計画後期の方策の進捗状況
(2) 四分野の共通課題に対する計画後期の方策の進捗状況
- 資料2-2 新潟市医療計画の計画後期における取組みの指標一覧
- 資料3-1 新潟市医療に関する意識調査 設問案【市民対象】
- 資料3-2 新潟市医療に関する意識調査 設問案【医師会員対象】
- 参考資料1 新潟市における救急医療体制の議論の進捗と進め方について
- 参考資料2 在宅医療・救急医療連携の推進について
- 番号なし 新潟市医療に関する意識調査報告書（令和2年9月）